

# 山口市スマートシティ推進ビジョン(山口市官民データ活用推進計画)（最終案）【概要版】

資料2

## < 目次 >

I ビジョン策定の背景	II 推進ビジョン	III 重点プロジェクト
1 時代の潮流	1 ビジョン策定の目的	1 位置づけ及び進め方
2 国の動向	2 目指すまちの姿	2 実施体制
3 県の動向	3 ビジョンの位置付けと計画期間	3 重点プロジェクト(令和4年度～令和6年度)
4 本市の現状と課題	4 目指すまちの姿の実現	4 プロジェクトの対象地域
		5 DXの考え方
		6 ビジョンの推進体制
		7 官民データ活用推進計画

## I ビジョン策定の背景(P1～)

### 1 時代の潮流 (P2～3)

- (1)人口減少・少子高齢化の進展
- (2)人生100年時代の到来
- (3)働き方や暮らしへの意識変化
- (4)深刻化する気候変動と脱炭素への指向

### 2 国の動向 (P4～P7)

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| (1)地方創生の推進         | (4)持続可能な開発目標(SDGs)の推進 |
| (2)「Society5.0」の実現 | (5)脱炭素社会の実現           |
| (3)デジタル化の進展        |                       |

### 3 県の動向 (P8)

## 4 本市の現状と課題 (P9～P32)

- (1)人口構造等
  - ①人口減少の進展、②超高齢社会の進展、③自然動態の推移、④年齢別社会動態
- (2)産業構造
  - ①産業別就業人口等の推移、②男女別産業人口と特化係数
  - ③労働力人口、有効求人倍率等の推移、④農林業の状況
  - ⑤本市の温室効果ガス排出量の推移
- (3)本市の都市政策及び都市構造
  - ①本市の都市政策、②目指すべき都市構造等、③拠点構築とネットワーク化
- (4)本市における分野別の現状と課題の整理
 

総合計画に掲げる5つの政策グループを基本として、まちづくりアンケートによる市民ニーズにおいて重要度が高い、交通、防災・防犯、子育て・教育、ヘルスケア(医療・介護)分野を始め、観光・文化・スポーツ、環境・エネルギー、産業、地域づくり、行政の9つをスマートシティ推進に向けた基本的分野とします。そして、これらの取組を進める上での基盤となるDX社会基盤を加えた10分野について、スマートシティ推進協議会の各委員からの御意見、関係者等のヒアリングなどを踏まえ、分野ごとに現状と課題について、以下のとおり整理します。

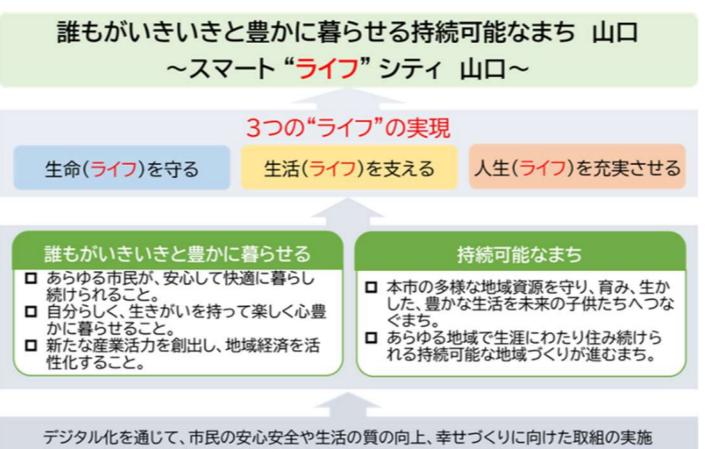
## II 推進ビジョン(P33～)

### 1 ビジョン策定の目的(P34)

増大し続ける地域課題や社会課題の解決、地域経済の活性化に向けて、スマートシティの推進を通じた本市の目指すべき姿や取組の方向性等をビジョンとして位置付け、地域や事業者、大学、行政等と共に認識を図り、官民が一体となったスマートシティの取組を効果的に進めていくため、「山口市スマートシティ推進ビジョン」を策定します。

## 2 目指すまちの姿(P35～P37)

### (1)目指すまちの姿



### (2)目標(数値によるまちの姿)

第二次山口市総合計画基本構想と同様に、「人口(定住人口)」、「交流人口」、「ふるさと指標」の3つの数値を、目標の達成状況に関する総合的な指標である KGI(重要目標達成指標)として設定します。

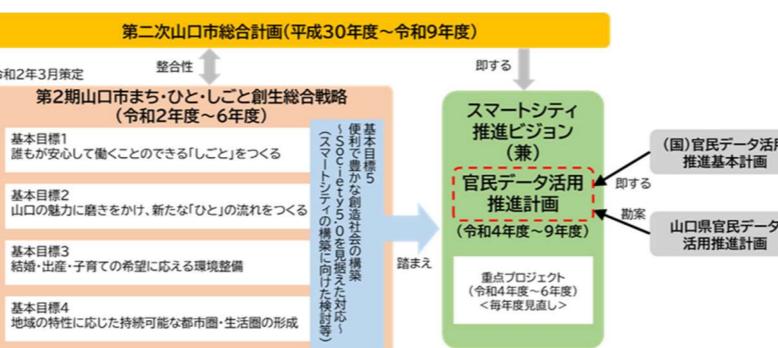
## 3 ビジョンの位置づけと計画期間(P38)

### (1)位置づけ

本市の地方創生への取組の方向性を示す「第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる基本目標5「便利で豊かな創造社会の構築～Society5.0を見据えた対応～」を踏まえ、第二次山口市総合計画の部門計画として位置づけます。

### (2)計画期間

第二次山口市総合計画と目標年次を同じとし、R4年度～R9年度までの6年間とします。また、本ビジョンにおける重点プロジェクトの計画期間については、第二次山口市総合計画第5次実行計画に合わせて、R4年度からR6年度までの3年間とします。



## 4 目指すまちの姿の実現に向けた重点領域(P39～P47)

本市における様々な課題を踏まえ、本市においては、「人生100年時代をいきいきと暮らし続けられるまちづくり」、「豊かな子育てができるまちづくり」、「スマート“ライフ”シティを支えるまちづくり」の3つを、目指すまちの姿の実現に向けた重点領域とし、行政や民間が保有するデータの利活用を図りながら、デジタル化を通じて、交通や防災・防犯、ヘルスケア(医療・介護)、子育て・教育等の暮らしを中心とした重点プロジェクトを位置づけ、行政や民間が保有するデータやデジタル技術の活用を図りながら、DXの考え方を踏まえて、生活者の視点を第一に考えた取組を進めていきます。



## 5 DXの考え方(P48～P49)

### (1)DXを踏まえた生活者の視点からの取組の実施

本ビジョンに掲げるスマートシティの取組を進めるにあたっては、DXの考え方を踏まえ、AIやRPAなどのデジタル技術の導入から考えるのではなく、生活者の視点を第一に、市民や社会のニーズを基に重点プロジェクトの検討を行い、その上で、対象者や目的に応じて、必要なデジタル技術を選択して重点プロジェクトを実施していきます。

### (2)デジタル化における留意点

重点プロジェクトの検討においては、「デジタイゼーション」、「デジタライゼーション」、「デジタルトランスフォーメーション」のこれら3つデジタル化の、どの段階にあるのかに留意しながら、最終的にDXにつながるように取組を進めていきます。

### (3)デジタル化によるデータの取り扱い

セキュリティ対策を十分に施したうえで、行政や民間事業者等が有するデータを活用し、AIや統計解析などを通じて、スマートシティを推進していきます。

## 6 ビジョンの推進体制(P50)

産官学民の多様な主体が参画する「山口市スマートシティ推進協議会」を設置し、本ビジョンの実現を推進していきます。また、交通、行政、子育て・教育など暮らしを支える様々な分野における課題解決に向け、スマートシティ連携事業者を中心とした分野ごとの分科会を設置し、具体的な施策・サービスの社会実装の検討を行なっていきます。

## 7 官民データ活用推進計画(P51～P53)

本ビジョンの実現に向けて、官民データ活用推進基本法の基本理念に即し、行政や民間の保有する官民データの適正かつ効果的な活用の推進を図り、もって市民が安全で安心に暮らせる社会及び快適な生活環境の実現に寄与することを目的とし、官民データ活用推進基本法に基づいて「山口市官民データ活用推進計画」を策定するものです。

## III 重点プロジェクト(P54～)

### 1 位置づけ及び進め方(P55)

本ビジョンの目指すまちの姿の実現に向けた3つの重点領域に対し、横断的、重点的に、デジタル化等を通じて検討を始める重点領域を、重点プロジェクトとして位置づけ、技術革新等に対応可能なビジョンとするために、毎年度見直しを行います。

重点プロジェクトの具体化については、スマートシティ推進協議会の意見等を伺いながら、本市のまちづくりとの整合性や調整を図りつつ、連携事業者を始めとした民間活力を最大限に生かしながら、生活者の視点を第一に検討を進めていきます。

さらに、具体化が進んだ取組につきましては、必要に応じて第二次山口市総合計画実行計画における政策や施策に基づく事業として位置づけます。

### 2 実施体制(P56)

スマートシティ連携事業者を中心に、産学公が連携し、それぞれが有するノウハウを最大限に生かして、サービスの構築を図り、市民等へのサービスの提供を行います。

## 3 重点プロジェクト(令和4年度～令和6年度)(P57～P101)

NO	分野	プロジェクト名
1	DX社会基盤	新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト
2	交通(移動・物流)	最適な移動を実現するまちプロジェクト
3	防災・防犯	逃げ遅れゼロプロジェクト
4	子育て	親が元気に活躍するまちプロジェクト
5	教育	生涯学び・活躍プロジェクト
6	教育	豊かな学びをはぐくむプロジェクト
7	ヘルスケア(医療・介護)	元気いきいきプロジェクト
8	観光	おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト
9	環境・エネルギー	地域脱炭素推進プロジェクト
10	産業	地域産業・経済活性化プロジェクト
11	地域づくり	スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト
12	行政	行かなくてもいい市役所プロジェクト
13	DX社会基盤(人材育成)	スマートライフシティを支える人材育成プロジェクト
14	地域づくり	山口モデルのスーパーシティ構築プロジェクト

第二次山口市総合計画の各施策別に対応する形で取組を進め、■色で色づけたプロジェクトについては、施策横断的な取組として位置付けます。

## 4 プロジェクトの対象地域(P102～P103)

- (1)中山間地域
- (2)山口都市核を中心とした都市拠点
- (3)小郡都市核を中心とした都市拠点

# 山口市スマートシティ推進ビジョン(山口市官民データ活用推進計画)（最終案）【重点プロジェクト(P57～P101)抜粋】

## 重点プロジェクト1 新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト

地域課題の解決や市民の豊かな暮らしを実現するため、分野や組織等の壁を越えた連携を可能とする相互運用性・拡張性、セキュリティが確保された都市OSの構築を進め、国、自治体、民間事業者などがバラバラに管理・保有するデータの連携を促進します。

そして、こうしたプロジェクトの展開を通じて蓄積されたあらゆる分野のビッグデータ等を活用し、市民に対し、新たな価値の創出や新たなサービスの提供を行い、地域課題の解決や新たな産業の創出を図り、市内全体のDXを推進します。

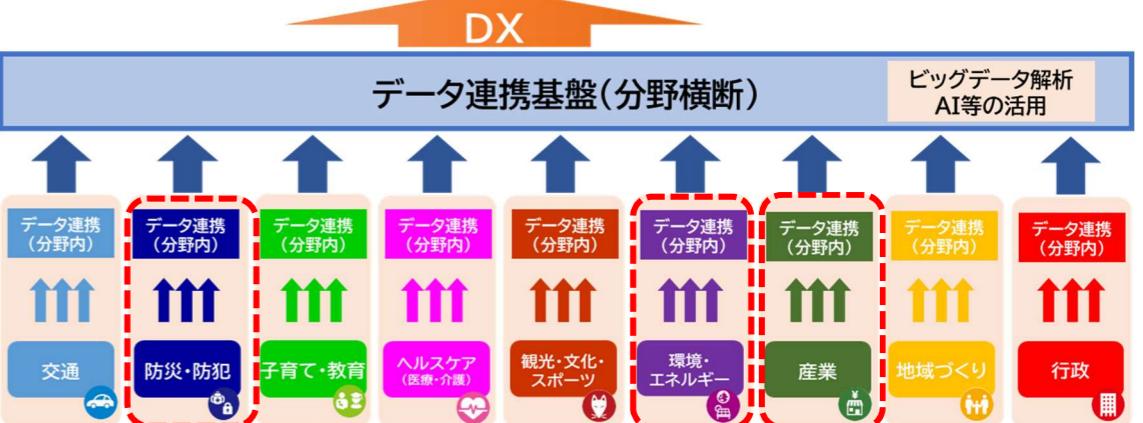
### 【取組内容】

#### (1)データ連携基盤(都市OS)の構築に向けた取組の推進

- 交通や子育て・教育、医療・介護、防災など、生活全般にわたる複数分野での先端的サービスの社会実装を見据えた、データ連携基盤(都市OS)の研究・実証の推進。
- 山口県が整備を進めている「山口県データプラットフォーム」や「Y-Cloud」との連携促進。
- データ連携基盤の構築後の市民の利便性等の更なる向上に向けた、蓄積されたデータ等のビッグデータ解析による、新たな価値の創出や新たなサービスの提供。
- ビッグデータの活用に向けた、個人情報の厳格な管理や、強固なセキュリティ対策の実施。

### 「スマート“ライフ”シティ山口」の実現

新たな価値創出、新たなサービスの提供



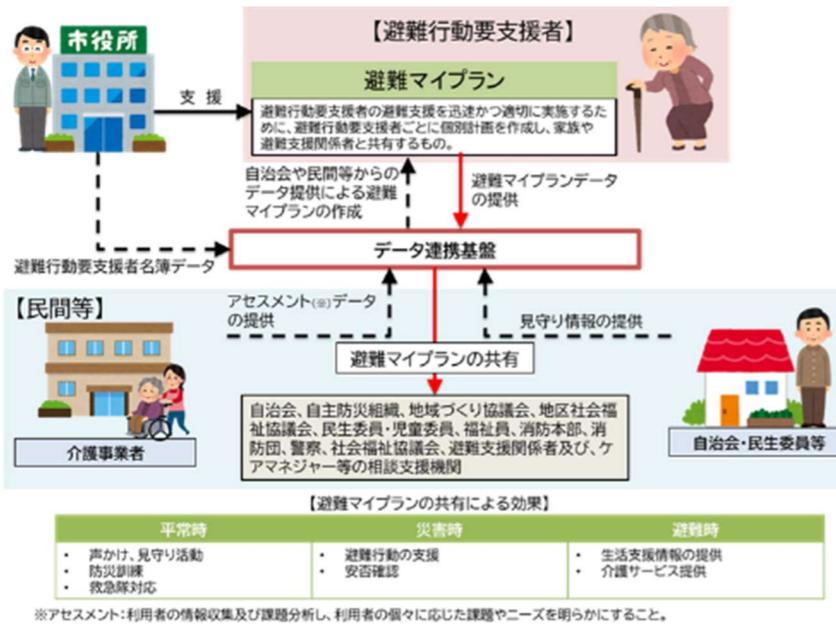
## 重点プロジェクト3 逃げ遅れ“ゼロ”プロジェクト

防災に関する情報のデータ化を進め、こうしたデータを最大限に活用し、平常時に、市民に分かりやすく災害に備えた防災情報の提供を図るとともに、災害時には、迅速かつ的確な避難情報の発信や避難支援が行える体制を構築し、こうしたプロジェクトの展開を通じて、高齢者や子どもをはじめ、あらゆる市民を誰一人残さない防災体制を構築し、逃げ遅れ“ゼロ”的まちを目指します。

### 【取組内容】

#### (1)データ連携による避難マイプランの作成及び活用

- 平常における見守りや、災害における避難行動支援や安否確認などの防災対策等の強化に向けた、市や民間事業者が有するデータの連携による避難マイプランの作成支援、及び地域団体や介護施設等との避難マイプランデータの共有を図るための仕組みづくり。



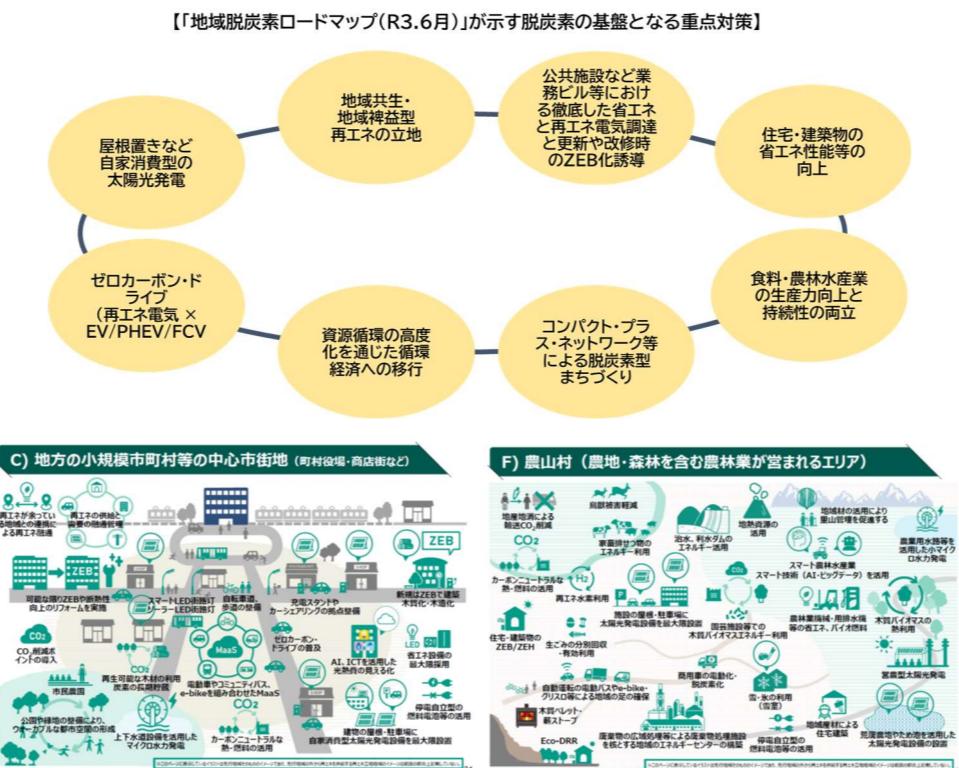
## 重点プロジェクト9 地域脱炭素推進プロジェクト

国の地域脱炭素ロードマップの重点対策と呼応する形で市民の暮らしを支えるあらゆる分野における地域脱炭素の取組を進め、こうしたプロジェクトの展開を通じて、地域課題を解決し、市民の暮らしの質の向上を図りながら、脱炭素社会の実現を目指すとともに、本市の地方創生にもつなげていきます。

### 【取組内容】

#### (1)脱炭素先行地域づくりの推進

- ゼロカーボンシティ宣言(令和3年12月)
- 「地域脱炭素ロードマップ」において示されている脱炭素の基盤となる重点対策を踏まえた、地域脱炭素につながる取組の推進



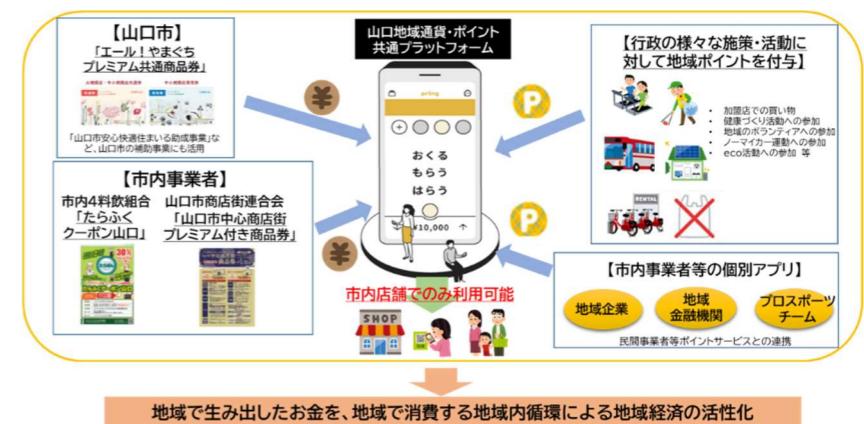
## 重点プロジェクト10 地域産業・経済活性化プロジェクト

デジタル技術を活用して、生産性や収益性の向上を図り経営基盤の安定化を図る取組を始め、起業者や新規就農者等の次代を担う若者等の育成、新たな産業の創出に向けた取組などを行い、こうしたプロジェクトの展開を通じて、地域内経済循環を促進し、市内事業者や農林漁業従事者の経営基盤の強化を図るなどの取組を進め、持続可能な地域経済の発展を目指します。

### 【取組内容】

#### (1)お金の地域内循環に向けた山口デジタル地域通貨の導入促進

- 株式会社pringのプラットフォームを活用した、山口デジタル地域通貨の導入促進。
- 民間事業者等のポイントサービス等との連携を可能とする仕組みづくり。



#### (2)デジタル技術を活用した持続可能な農業

##### ①スマート農機の導入支援

- 就農者の作業の効率化や負担軽減に向けたスマート農機等の導入促進に向けた支援。
- ②スマート農業の導入に向けた取組の推進

- 山口大学等との連携し、ほ場の状態等をリアルタイムに検知できる安価な無線センサー・ネットワークデバイスを活用した実証など、小規模農家等でも、スマート農業の導入が可能となるような取組や、農業分野でのDX推進に向けた人材育成等、スマート農業の導入に向けた取組を推進。